

# 令和5年度 学校自己評価書

静岡市立清水桜が丘高等学校

## I 経営の重点に関わること

(自己評価 A:十分効果を上げた B:効果を上げた C:効果が上がっていない)

1 学校教育目標	自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。	自己評価	関係者評価	学校関係者評価委員から
2 重点目標	<p>(1) 心身の健康、豊かな人間性と信頼関係の育成</p> <p>①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合 <u>80%</u> 【学校説明】前年度より微増した。コロナウイルス感染の流行が完全に収まったとは言い難いが、昨年と比べると行事や集会への制限も減ったこともあり、多くの生徒は挨拶の習慣がついていると感じている。(生徒アンケートで「非常にそう思う」「そう思う」と答えた生徒 80.7% 以下の項目も同じ)</p> <p>②礼儀やマナーを大切にしていると答える生徒の割合 <u>90%</u> 【学校説明】前年度より 4 ポイント増加した。交通マナーや電車内のマナーについて外部から指摘を受けることもある。(94.1%)</p> <p>③信頼できる先生がいると答える生徒の割合 <u>70%</u> 【学校説明】昨年度は 62.4%だったが、今年度は 9.2 ポイントと大幅に増加した。(71.6%)</p> <p>④信頼できる家族や友人がいると答える生徒の割合 <u>90%</u> 【学校説明】96.9%の生徒が信頼できる家族や友人がいると答えた。昨年とほぼ同様である。</p> <p>⑤自分に良いところがあると答える生徒の割合 <u>65%</u> 【学校説明】前年度より約 4 ポイント増加した。生徒の自己肯定感が高いと言える。(72.5%)</p> <p>⑥1カ月に1冊以上の読書をする生徒の割合 <u>60%</u> 【学校説明】11月末までで 56.9% (前年度 53.7%) で前年比 3%増となり、目標値に近い値となった。</p> <p>⑦学校が楽しいと答える生徒の割合 <u>80%</u> 【学校説明】前年度とほぼ変わらず。(76%) 生徒にとって負担がかかる行事がコロナ前のように行われつつあることも要因の1つと考えられる。</p> <p>⑧問題行動等件数、交通事故件数の前年度比減少 【学校説明】12月末現在で、問題行動 5 件 (昨年度 0 件) 交通事故 8 件 (昨年度 3 件) と昨年度よりも増加している。相手に対する思いやりや配慮が欠ける面があった。毎日の生活の中でも担任や授業担当者が生徒に寄り添い、声をかけていく必要がある。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶は人間生活の基本。</li> <li>少しでも増えるご努力を。素晴らしい。</li> <li>事故のないことを祈ります。</li> <li>問題行動及び交通事故件数の増加は気になる。何か対策(対応)が必要か。</li> <li>①～⑤目標値を達成しており、さらに向上、維持できるよう、引き続き、指導をお願いします。</li> <li>図書館にて、教員おすすめの本コーナーが奥のほうにあると聞いています。企画が誰かはわかりませんが、もう少し改善すれば、③も含めてさらなる向上が少しは期待できるのではないかと思います。</li> <li>コロナ禍からの回復の影響もあると思いますので、引き続き注視して頂きたいです。</li> <li>先生と生徒との信頼関係の構築するために、先生側から生徒を伴走する姿勢で臨むことは、素晴らしいと感じました。引き続き、その姿勢で取り組みをお願いします。</li> <li>なかなか定着は難しいとは思いますが、学校生活において相手の方(生徒間、生徒と先生間、先生間)の名前を呼ぶ際に「〇〇さん」と呼ぶ習慣付けをしてはどうでしょうか。</li> <li>お互いにさんづけで呼び合うことで、尊敬や認め合う関係が生まれてくると感じております。</li> <li>全体的に目標を達成している。但し問題行動等の件数が、昨年度は 0 件であったが、本年度 5 件は多い。また、交通事故も昨年度に比べ増えていることについては、しっかりと指導を行い、件数を減らしてもらいたい。</li> <li>学校が楽しいと答える生徒の割合はもっと増加したい。</li> <li>先生と生徒の信頼関係を短い期間で構築していく事は大変な苦勞だと思うが、生徒アンケートの結果を見ると教員の皆さんの努力が伺えます。</li> <li>読書については生徒が読みたいと思う本を把握し図書室を充実させるか具体的な施策が必要に思います。</li> <li>⑧の増加が心配です。昨年 0 件の問題行動が今年度は 5 件、交通事故が 3 件から 8 件と増加しています。特に自転車通学者のマナー違反や交通ルール違反が市内の高校生で問題となっていて交通事故にも繋がっていると聞いています。自転車のマナーや交通ルールを学ぶ機会が少ないので行政や警察などと連携した指導や学びの場が必要に思います。</li> </ul>
	<p>(2) 汎用性の高い力の育成と進路希望の実現</p> <p>①授業の内容が分かると答える生徒の割合 <u>65%</u> 【学校説明】前年度より約 6 ポイント増した。(68.2%)しかし、約 30%の生徒が「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」と答えている。より分かりやすい授業の実現に向けて授業改善に取り組む必要がある。</p> <p>②課題探究型授業を実践している教師の割合 <u>60%</u> 【学校説明】前年度より 15.5 ポイント増と大幅に増加した。(57.5%) 新課程では課題探究も重要なテーマであるため、課題探究型授業に取り組む教員が増えたのだろう。しかし、どちらともいえない、そう思わないが 37.5%あり、課題を見つけ解決する力を育成できるようさらなる授業改善が必要である。</p> <p>③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合 <u>60%</u> 【学校説明】前年度より 16%と大きく増加した。(66.5%) 1, 2 学年では新課程となり、より思考・判断・表現に関する能力の育成が求められている。また、1, 2 学年とも BYOD を実施しており、iPad をはじめとしたデバイスで自己表現したり、自分の意見を伝えたりすることが容易にできるようになった。また、アクティブラーニング型の授業や総合的な探究の時間における探究活動の機会が多くなったからだと考えられる。</p> <p>④ICTを活用した授業を受けていると答える生徒の割合 <u>80%</u> 【学校説明】前年度より 8.4 ポイント大幅に増加した。(87.2%) 教年間、70%を超えてきた項目であるが、今年度は 1, 2 学年ともに BYOD を実施したことが大きく影響している。ただ、ICT の活用が学力の向上や授業改善に役立っているかは検証する必要があるだろう。</p> <p>⑤3年間を見通した進路指導計画の作成と学習時間・進路希望調査等のデータの活用。 【学校説明】なかなか時間が取れない中、ICT機器を活かすなどしてデータの活用を図っている。</p> <p>⑥進学希望者の進路希望(3年当初)の達成率 <u>50%</u> 県内国公立大学合格 <u>10人以上</u> 【学校説明】①は達成していない②は達成している(昨年度の実績)</p> <p>⑦就職希望者の就職決定率 <u>100%</u> 【学校説明】公務員試験を受験している生徒 1 名を除き就職が決定している。</p> <p>⑧資格取得により身につけた力を活用できたと答える生徒の割合 <u>50%</u> 【学校説明】目標には届いていないものの昨年度より約 6 ポイント増加した。(42.6%) 資格を取得することが目的ではなく、資格で身につけたものを活用できるよう指導していきたい。</p> <p>⑨訪問受入、外国客船歓迎等国際交流活動の実施 【学校説明】商業科の授業「観光ビジネス」で、清水港へ出向き外国船乗客との交流をした。それに向けて地元のまちづくりや地域資源について実践的な学習を実施した。吹奏楽部も歓迎のために演奏を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が分かるは大切。</li> <li>課題探究型授業は大切。</li> <li>表現力は大切。</li> <li>ICTは立派です。</li> <li>100%は素晴らしい。</li> <li>就職率 100%は素晴らしい。</li> <li>目標を達成するのは、働き方改革が叫ばれるこのご時世に大変だと思いました。</li> <li>課題探究型授業を経験した教員の経験が、他の教員にも円滑に共有出来るようになることを望みます</li> <li>実際に働かないと効果が理解できないと思いますので、何に活用できる資格か、引き続き指導をお願いします</li> <li>課題解決力は社会人にとっても重要であり、「課題」と「問題」の違いについて理解をさせて下さい。</li> <li>あるべき姿や目標に対する現状やギャップをしっかりと探究させ、どのようにすれば解決に導けるかを伴走しながら指導をお願いします。</li> <li>時にはこれまでの固定観念を捨てて、柔軟な発想で取り組ませても良いかと思います。</li> <li>何かをすることが目的になっていないか、改めて確認して下さい。例えば、勉強や資格を取得することが目的ではなく、なぜ勉強をするのか、なぜその資格が必要なのか等、将来につながる目的意識や本質を分らせることが大事だと思います。</li> <li>先輩大学生や先輩社会人を学校へ招き、講話をする機会を設けるのも、高校生には刺激になるのではないのでしょうか。</li> <li>良く出来ている。ICTを活用した授業が定着してきており良いと思う。</li> </ul>

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者の就職決定率 100%達成と良い企業に就職で来ている。</li> <li>・客船歓迎行事は本年クルーズ船寄港が3月から4月で計33回もあり、是非何らかの形で計画してもらいたい。</li> </ul>
(3) 総合的な探究の時間を軸とする課題解決力の育成	<p>①地域とかかわり、課題を見つけ、課題について自分の考えを表現できたと答える生徒の割合 75% 【学校説明】前年度より約8ポイント増となった。(77.3%) 1, 2年生は総合的な探究の時間を通して地域や学校の課題を見つけ、検討し、解決策を導く活動を行った。また、その他の科目においても地域連携型の授業などを行っている。</p> <p>②課題解決力が身についたと答える生徒の割合 60% 【学校説明】前年度より大幅に増加し、約11%増であった。(68.5%) ただ、どちらとも言えないと答える生徒も約4分の1おり、実生活に活かせるように授業の改善や授業の工夫をしていく必要がある。</p> <p>③主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合 75% 【学校説明】前年度より約8ポイント増加した。(80.1%) 多くの生徒が何かしら主体性をもって取り組んでいるものがある。</p> <p>④挑戦していることがあると答える生徒の割合 80% 【学校説明】前年度より約3ポイント増加した(78.4%) 上記の項目と同様に主体的かつ積極的に物事に取り組んでいる。</p> <p>⑤教科指導、総合的な探究の時間、部活動等における、地域・社会と連携した活動の推進(外部連携した授業 一部活一交流) 【学校説明】総合的な探究の時間「礎」 静岡市内の企業と協働して、地域社会により良い変化をもたらすための方策を考案した。 部活動 吹奏楽部は清水エスパルスの試合会場や商業施設、草薙駅前等で演奏、生活研究部は図書館で読み聞かせ、パソコン部は高齢者を対象としたスマートフォン操作教室を行った。 生徒会 SDGsに関するプロジェクトチームを立ち上げ、清水駅前銀座商店街でフードドライブ、古着回収などイベントを実施した。 能登半島地震の募金活動を行った。</p> <p>⑥複数部活動の東海大会、全国大会への出場 【学校説明】運動部 全国大会出場 女子ハンドボール部 東海大会出場 女子ハンドボール部、サッカー部、卓球部、陸上部 文化部 全国大会出場 ワープロ部、棋道部 東海大会出場 ワープロ部</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決力が身に付いてと答えた生徒が前年より1割も増えたことは頼もしい。</li> <li>・部活動はさらに全国大会を目指して頑張りたい。</li> <li>・シヅクリプロジェクトの理念は良いと感じました。</li> <li>・仙台育英高校野球部の目標は、“地域の人と喜びを分かち合う”と聞きました。そのような観点を持った活動を続けていく、もしくは、出来るようになれば、徐々に部活動に対して、挑戦してくれる生徒が増えていくと思いました。</li> <li>・ほとんど目標を達成しており、特に昨年度より8ポイント増で地域との行事(敬老会)では、高齢者1,351名に絵手紙を書いてもらい交流することは良かった。また清桜新聞を全戸配布して学校の様子を知ることができた。</li> <li>・部活動の面でも東海大会、全国大会に出場が報告され生徒の活躍をうれしく思いました。</li> <li>・教員の努力によって分かりやすい授業の構築に努めている成果は出ていると感じたが、課題も多いように感じました。</li> <li>・特に ITC の活用は定着しているが、機器の更新や新しい機能の導入(AI)など世界の潮流についていける力の育成を指標とした取り組みを望みます。</li> <li>・全ての指標に対して高い結果で評価されている事から各指標の継続的な取り組みをお願い致します。</li> </ul>	
(4) 市民の期待と信頼に応える教育活動の推進	<p>①学校の様子がよく分かると答える保護者の割合 70% 【学校説明】前年度より微増した。(62.2%)</p> <p>②HP、学校紹介リーフレット、中学生体験入学の見直し 【学校説明】中学生の視点に立った、視覚的にわかりやすい学校紹介リーフレット作成を行った。中学生体験入学は、6月と8月に実施した。</p> <p>③組織的に地域連携を実施できる体制づくり 【学校説明】総合的な探究の時間は学校全体として企画運営する体制整備が進み、教科や部活動などの活動を事前に職員に計画が周知された。</p> <p>④入学者選抜における、定員を上回る志願者の確保 【学校説明】本校の取り組みを学校ホームページ等で外部へ発信した。また、依頼のあった中学(10校)へ学校説明を実施した。</p>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを自治会に配布依頼することも検討してもらいたい。</li> <li>・学校行事等で人手が欲しいときには、PTAの皆様ボランティア(強制ではない)を募ってみて、少しでも学校を知ってもらえるのも良いと思いました。</li> <li>・ワープロ部の実績に対しての、世間の認知度が上がれば、志願者の増加に寄与するのではないかと感じました。</li> <li>また、探求型授業を続けていけば、徐々に増えていくのではないかと感じました。</li> <li>・そもそも「市民の期待と信頼」とは何か分かりづらい感じがしますが、発信した、周知した、説明した実施しただけでは評価ができないのでは。</li> <li>・学校の内容をリーフレット、新聞を通して知ることが出来て良かった。</li> <li>・引き続き中学生が憧れる学校を目指して部活動への指導充実や高い進学率、就職率、資格取得率で市民の期待と信頼に応える教育を推進して頂きたい。</li> </ul>	
(5) 働き方改革	<p>①各部署における業務の見直しと削減の推進 【学校説明】昨年度に引き続き、仕事内容の見直しを継続している。20時以降に業務行っている職員は減少している。</p> <p>②ICTを活用し業務の効率化をしている教員の割合 90% 【学校説明】前年度より6ポイント増加した。(95%) ほとんどの教員がICTを活用して授業や業務を行っている。BYODの実施2年目を迎え、ICTの活用によりさらなる効率化を図っていく。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT頑張ってください。</li> <li>・ICTの導入から、経験が蓄積されていけば、効果があがると思いました。引き続き改善をお願いします。(当たり前に登校することを変える)</li> <li>・ICT化が進んでいるので、あえて登校をさせない・リモート授業の日を試行してどうでしょうか。</li> <li>・目標を達成できている。</li> <li>・更なるITC活用による業務の効率化をお願いします。</li> </ul>	

II 各指導部・領域に関わること

(自己評価 A：十分効果を上げた B：効果を上げた C：効果が上がっていない)

大項目	中項目	評価指標	自己評価	関係者評価	学校関係者評価委員から
1 教育課程・学習指導	【市共通項目1】 学力の定着 (1) 確かな	①課題探究型授業を実践し、自己の考えを表現できる力を育成する。 ②総合的な探究の時間を活用して、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ③「職場体験学習」「外部講師による講座」をはじめ、実社会との連携による教育活動を推進する。 【学校説明】総合的な探究の時間では、テーマに即した課題について能動的に学習する姿勢が見られた。今後とも教員がしっかりと伴走しながら探究活動が推進できるよう取り組んでいきたい。今年度も多くの企業の協力をいただき内容の濃い教育活動が実施できた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題探究型授業は人間力を育てるものだと思います。</li> <li>・社会人としてのコミュニケーション能力の醸成を図られたい。</li> <li>・校則の見直しによるマナーの低下がなくてよかった</li> <li>・「職場体験学習」「外部講師による講座」は今後も積極的に推進すべきと思います。教員の生徒への伴走は大変よい取り組みですので、引き続きお願いします。</li> <li>・自己肯定感を高める手段として「成功体験をして達成感を得ること」「努力を誉められること」が挙げられております。</li> <li>・生徒の努力に対しては、言葉にだしてほめて下さい。また、生徒にはアドバイスしたり、褒められたりしたら、感謝の気持ちを言葉にするよう指導してください。</li> <li>・全体的に良く出来ている。</li> <li>・特に道徳教育になると思うが、ITCが進行している現代において、SNSを通じた事件が多発してニュースになっている事を鑑み、安易な投稿が世界に拡散して人生を狂わしてしまう危険がある事を様々な事例から学ぶ場が必要に思います。</li> </ul>
	【市共通項目2】 実 道徳教育の充	①「道徳教育の全体計画」を周知し、各教科、科目において道徳教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。 ②命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕の心を養うため社会貢献活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。 ③規範意識、マナー、生活態度等について、職員と生徒が共に考え、帰属意識を高める。 【学校説明】学校内では挨拶、仲間への思いやり等自他の尊重を大切にするように呼び掛けている。社会におけるルールやマナーについて、意識して生活ができるように、5月と12月に警察による講話を実施した。	A		
	【市共通項目3】 特別活動の充実	①さまざまな学校行事を通して、生徒の自主性や主体性を育み、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。 ②修学旅行や海外語学研修のプログラムを充実させ、国際理解教育の推進を図る。 【学校説明】①清桜祭や体育祭において、生徒の主体的な活動により実施をした。クラスの仲間との連携が向上し、クラスや学年としてのまとまりがみられた。②海外語学研修は実施できなかったが、修学旅行において、京都、奈良の文化的遺産を実際に目にすることで日本文化の理解が進んだ。	A		
2 生徒指導	【市共通項目4】 一人ひとりを大切に した指導	①普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一対一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、個々に適した対応を心掛けるとともに、心の交流を図る。 ②学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を効果的に活用し、支援の必要な生徒に対して適切に対応する。 【学校説明】生徒に対するアンケートで、「信頼できる教員がいる」の回答が増加した理由に次のことが考えられる。①人権意識向上に資する職員研修を年2回開催することで生徒に伴奏する意識の向上ができた。②について、相談室の利用件数は年々増加傾向にある。養護教諭との連携の中で外部機関とも連携を図り、利用後のフィードバックを行った。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の交流」好きな言葉です。いじめの未然防止に向けた職員研修、生徒会の啓発活動はどうでしたか。</li> <li>・生徒に寄り添った伴奏型支援を行ってほしい。</li> <li>・相談室の利用件数が、増加傾向にあるとのことで、その対応で大変と思います。利用件数が減少していくよう願っております。</li> <li>・一対一面談(1on1:ワンオンワン)は企業でも取り入れている取り組みです。</li> <li>・くれぐれも一方的な行為ではなく、双方向のコミュニケーションをとり、生徒の状況や目標を理解し、共感し、励まし、チャレンジさせながら見守ることも肝要です。今後も継続して取り組んでください。</li> <li>・「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知されており生徒に対しても適切に対応されている。</li> <li>・いじめの状況や不登校の状況について聞くことが</li> <li>・出来なかったが、生徒ひとりひとりに寄り添った指導でそうした生徒を減らす努力を継続する事が大切に思います。</li> </ul>
	【市共通項目1】 正 織の運営の適	①「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知し、共通理解のもとに対処する。 ②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする。 【学校説明】①「いじめ防止等のための基本方針」については、今までの方針を確認したが、修正等の必要性はなかった。 ②定期的に「いじめ対策組織」で情報交換をすることはなかったが、担任含め生徒からの相談や何か生徒に変化があった場合は、常に迅速に情報共有をし、適切に対応できた。	A		
	【市共通項目2】 の早期発見、 状況把握と対 応の適切化	①年2回実施している「いじめアンケート」の内容を、より実態が把握できるように見直す。また、事後の対応を相談室と連携して行う。 ②教育相談体制を整備し、生徒・保護者がいじめを訴えやすい環境を整え、実態把握に努める。 【学校説明】①「いじめアンケート」については、内容を吟味し、修正をした。②「いじめアンケート」で気になる生徒に対して、教育相談室と共有し、SC、SSW r と保護者と面談することができた。また、SC、SSW r からのフィードバックにより、生徒の状況を把握することができた。	A		
	【市共通項目13】 組 発 防 止 に 向 け た 取 組	職員を対象として、いじめの未然防止に向けた取組に関する研修会を行う。また、生徒に対しては生徒会主催の啓発活動を行う。 【学校説明】人権意識向上に資する職員研修を年2回開催した。生徒が主体となる生徒会主催の啓発活動は実施できていない。来年度は委員会主導で実施していきたい。	B		
3 進路指導	一人ひとりの進路の実現	①生徒の進路希望や生活の様子を把握し、適切な学習支援・助言を行う。 ②講習や模擬試験等を通じて、学力向上や検定取得を目指す。 ③進路意識を高める行事を企画する。(大学見学・模擬授業・職場体験学習・講演会等) 【学校説明】限られた時間の中で①～③については概ね実施できている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な進路希望があり、大変と思います。引き続き指導をお願いします。</li> <li>・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。</li> <li>・限られた時間の中で大変だと思いますが、引き続き実施に向けた計画をお願いします。</li> </ul>
4 安全管理・指導	学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導(登校指導)等で周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。 ②「学校安全計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚に努める。 【学校説明】①毎月2回朝の登校指導を、交通安全委員会を中心に行った。また、集会の際には交通ルールやマナーについての話を言い、徹底できるように呼びかけをした。②防災避難訓練の計画的実施はできている。能登半島地震の募金活動で生徒の防災意識を再認識する機会となった。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災避難訓練の様子を知りたかった。</li> <li>・交通事故も増えているようですので、引き続き呼びかけをお願いします。</li> <li>・災害後の復旧の長期化への対応がどうか気になります</li> <li>・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。</li> <li>・岡地区交通安全と生徒会の代表と情報交換できた。交通ルール・マナーについての確認をした。</li> <li>・交通ルール・マナーについては1に記載しました。</li> <li>・大規模災害については各地での災害を教訓とした防災意識の高揚を図って頂くようお願いいたします。</li> </ul>
5 保健管理・指導	健康教育の充実 【市共通項目6】	①健康診断、健康観察等を通して生徒個々が抱える健康課題を把握する。 ②校内救急体制を迅速に実行できるようにする。 ③校内外と連携を図り、組織的に対応していく。 【学校説明】朝食接種率は昨年並みの95%だった。ロイノートを活用した健康観察の入力を行っている。次年度からは全学年ipadが揃うため、保健委員の声掛け等も行い、確実に入力をさせたい。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食接種率が、昨年並みに高いので、この取り組みを継続してお願いします。</li> <li>・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。</li> <li>・朝食をとっている95%と良い。</li> </ul>

6 特別支援教育	学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①教育相談に関わる研修を計画的に行う。 ②特別支援の必要な生徒の把握に努めるとともに、必要に応じた支援や合理的配慮を行う。 ③個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画等の作成を推進する。 ④スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用方法の研究と実践に努める。 【学校説明】予算を確保することで、計画通り相談日を設定することができた。養護教諭と連携し、外部関係機関や医療機関との連携も行った。教員、SC、SSWrにもフィードバックを行った。相談件数は年々増加しており、SC、SSWrの来校日の増加やそれに伴う予算の確保など、支援の充実を図っていく必要がある。	A	A	・予算の確保、大変だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。 ・予算の確保が大変だと思いますが、更なる充実をお願いします。
7 組織運営	組織・運営の改善 【市共通項目8】 徹底 時間管理の	日課や朝学習等を工夫するなどして、職員の最終退出時刻が原則午後8時までにする。 【学校説明】職員が輪番で行う管理当番の業務を自動放送に切り替えた。そのため、管理当番の業務の負担が軽減された。8時以降に残業する場合、届け出制としているが、昨年度より届け出を行う職員が増えた。また、8時以降に職員室で業務をしている職員は少ない。	A	A	・午後8時は遅すぎませんか。 ・さらなる職員の時間外勤務時間の減少を望む。 ・ICTや自動化の、さらなる活用や、導入を通じて、業務の効率化が進むとよいと思いました。 ・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。 ・組織運営についてICT機器を使っており市教職員の働き方改革ができていと思う。
	組織・運営の改善 【市共通項目8】 事務業務の軽減	クラッシーなどの教育支援ツールやICT機器により、職員の負担を軽減する。 【学校説明】1、2年生が全員iPadを持ったことにより、教材作成や配布、課題回収などの負担は減っている。また、自動採点システムを導入し、職員の採点時間が減少した。クラッシーを利用した生徒保護者への連絡が確実に行うことができ、アンケート回収や落とし物返却など教職員の負担減となっている。	A		
8 研修	研修体制の充実 【市共通項目9】	①校内研修テーマ(アクティブラーニング研究)に沿った研修会を前期・後期年2回定期的に実施する。 ②授業公開週間を前期・後期年2回、3週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握に努める。 ③各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。 【学校説明】アクティブラーニング授業研究会は2回実施できた。後期は校外からも参観者を招き、授業改善について協議を行った。授業公開週間内にアクティブラーニングの研究授業を設定したこともあり、活発な参観となった。しかし、アクティブラーニング研究の授業者以外の参観は少なく、改善の余地がある。前期の職員研修会では、デジタル採点支援システムについての研修を行い、操作方法や利点について周知した。後期は生徒指導や生徒理解について法の観点から学ぶ研修を行った。今年度は「総合的な探究の時間」に関する校外の研修会の案内が多かったが、その都度教員に研修会の案内をした。	B	B	・授業の大幅な転換期であるため、研修が多いように感じました。負担の増加になりすぎないような、配慮をお願いします。 ・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。
9 保護者・地域の住民等との連携	信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的にHPの情報を更新する。 ②総合的な探究の授業等を中心に地域連携を推進する。地域防災や、ボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ③PTA総会・地区PTAを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。また、PTA広報紙では同窓会の活動の様子を保護者に発信する。 ④中学生やその保護者に授業を公開する。 【学校説明】①HPを確認し、内容の更新や学校紹介動画など内容の充実を進めた。②総合的な探究の時間では、近隣の施設にアンケート調査に出かけるなどして地域の人々のニーズを探った。地元企業と連携する授業を行った。ボランティア委員会を定期的に開催し、ペットボトルキャップの回収や募金活動を行った。また、地域におけるボランティア募集の呼びかけや、清水駅前商店街でRebornBatonProject(フードバンク・古着回収)を有志生徒が企画し、多くの生徒が参加した。③PTA広報誌の発行やPTA地区会での対話を通し、保護者に学校の教育活動への理解を深めてもらった。PTAClassi総会では、各議題に対して99%以上の賛同をもらった。また、12月には臨時Classi総会を開催し、PTA活動のより良い形を目指す動き出しとすることができた。④オープンスクールを2回実施した。	A	A	・PTAの総力を得たい。 ・有志生徒の企画が、今後も続いていくとよいと思いました ・PTAの形が変わり、Classyの活用の重要性を感じます。 ・引き続き更なる向上を目指し取り組んでください。
10 施設設備	教育施設設備の充実と安全管理	施設・設備、用具・器具は日常的に点検を実施し、学校事故等の防止に努める。 【学校説明】学期の始まりには、必ず教室のプロジェクター、ロッカー等、固定の状況確認や体育館やグラウンドのサッカーゴール、ハンドボールゴールの固定状況、防球ネット等、確認している。	A	A	・今日の事務長さんの話の中で、各種点検をされていることが分かりました。 ・引き続き点検をお願いします。 ・設備更新にあたっては、ニーズや必要性も検討して下さい。 ・特に学校事故等もなく良かったです。 ・引き続き事故防止をお願いします。